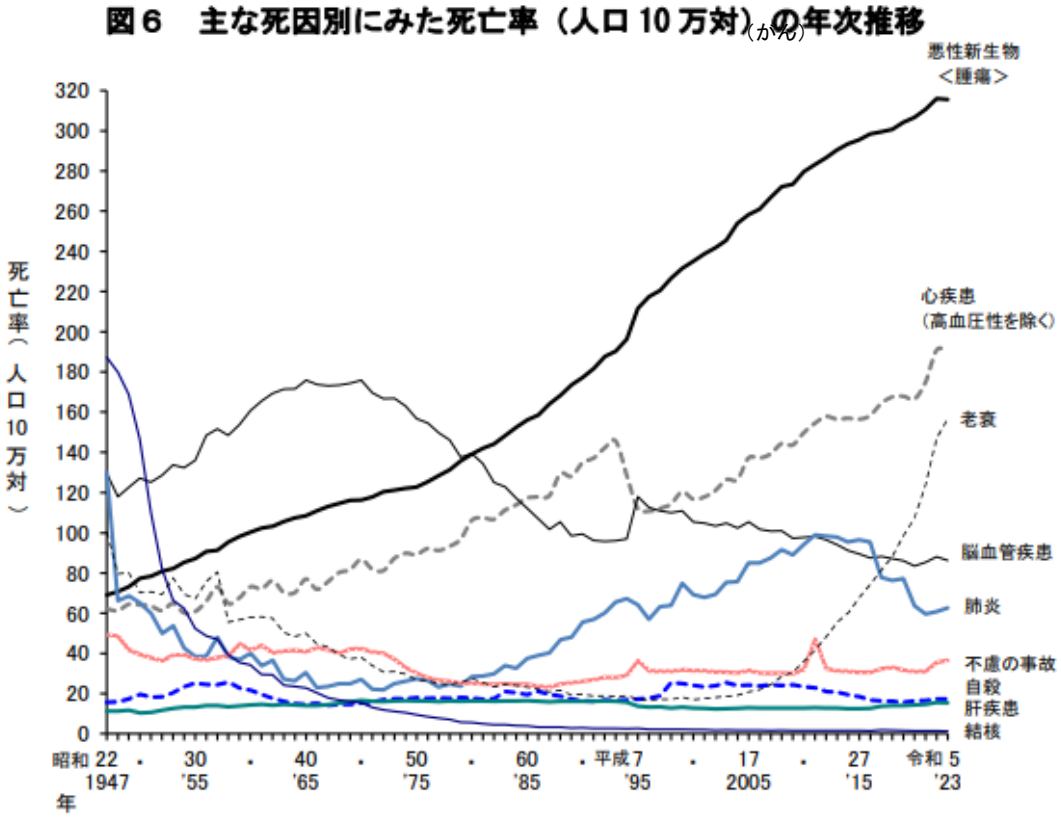
がんの現状

～２人に１人ががんにかかり、３人に１人ががんで亡くなる時代に～

がんは死亡原因１位

がんは、昭和５６年に脳卒中を抜いて死因トップになって以来、死因第１位のままです。
がんで亡くなる方は年々増えており、２０２３年には、３８万2,４９２人の方が亡くなり、
死亡総数の２４．３％を占めています。

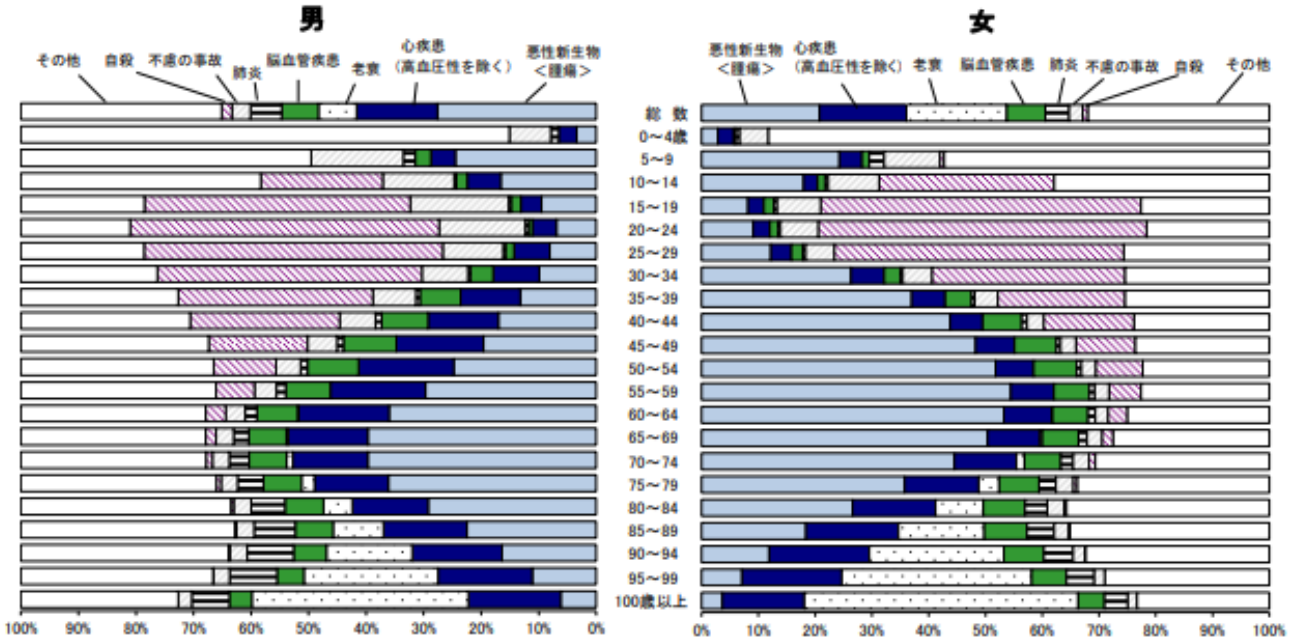
日本主な死因別にみた死亡率の年次



注：１）　平成６年までの「心疾患（高血圧性を除く）」は、「心疾患」である。
２）　平成６・７年の「心疾患（高血圧性を除く）」の低下は、死亡診断書（死体検案書）（平成７年１月施行）において「死亡の原因欄には、疾患の終末期の状態としての心不全、呼吸不全等は書かないでください」という注意書きの施行前からの周知の影響によるものと考えられる。
３）　平成７年の「脳血管疾患」の上昇の主な要因は、ICD-10（平成７年１月適用）による原死因選択ルールの明確化によるものと考えられる。
４）　平成29年の「肺炎」の低下の主な要因は、ICD-10（2013年版）（平29年１月適用）による原死因選択ルールの明確化によるものと考えられる。

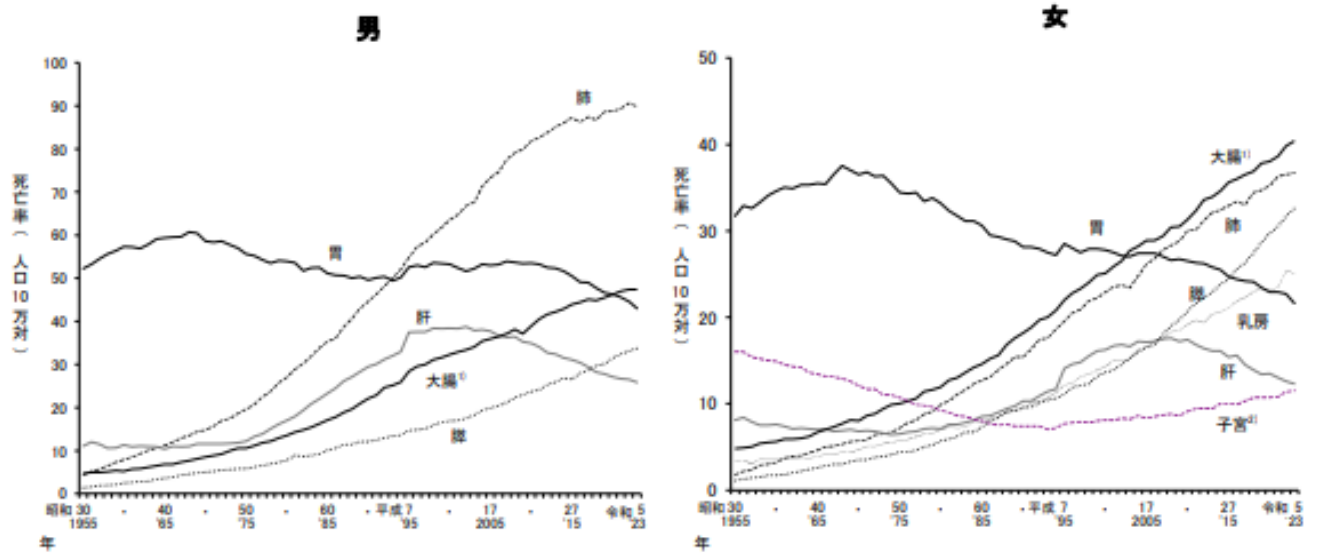
出典「令和 5(2023)年人口動態統計月報年計(概数)の概況」(厚生労働省)

日本性・年齢階級別にみた主な死因の構成割合



出典「令和 5(2023)年人口動態統計月報年計(概数)の概況」(厚生労働省)

日本悪性新生物（がん）の主な部位別死亡率（人口10万対）の年次推移

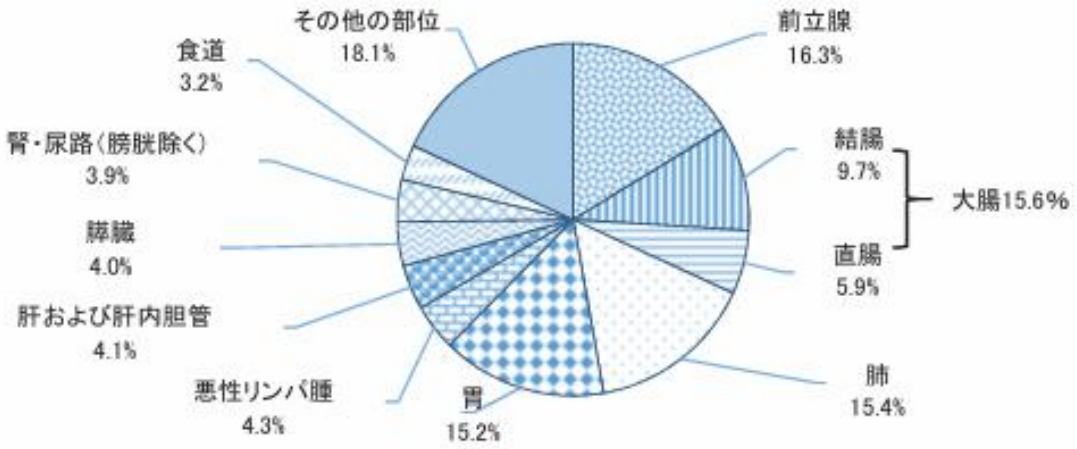


注：1） 大腸の悪性新生物＜腫瘍＞は、結腸の悪性新生物＜腫瘍＞と直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物＜腫瘍＞を示す。ただし、昭和42年までは直腸肛門部の悪性新生物を含む。
2） 平成６年以前の子宮の悪性新生物＜腫瘍＞は、胎盤を含む。

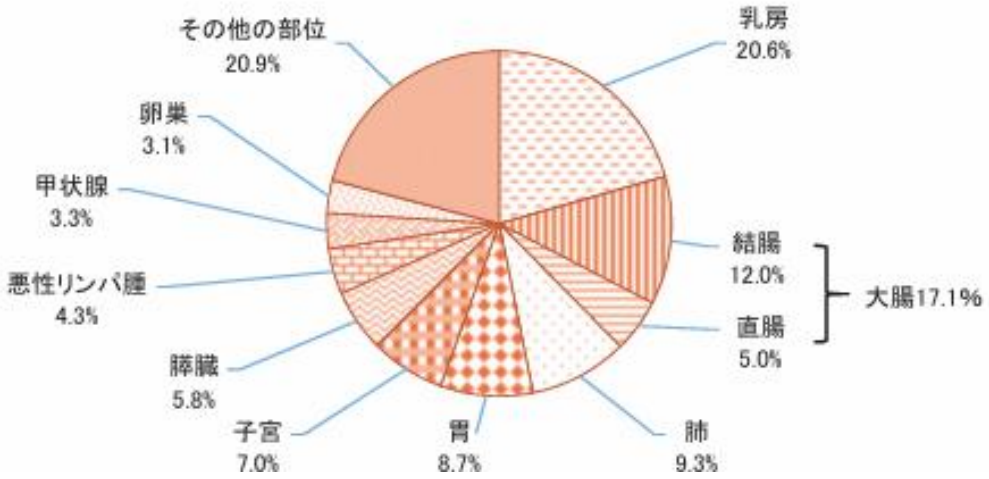
出典「令和 5(2023)年人口動態統計月報年計(概数)の概況」(厚生労働省)

岐阜県　性別の罹患割合

男性

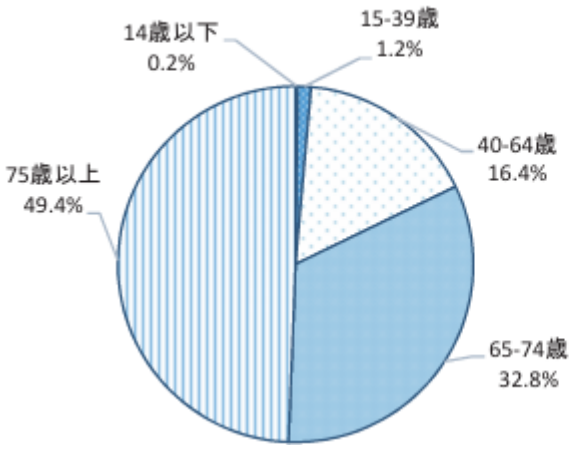


女性

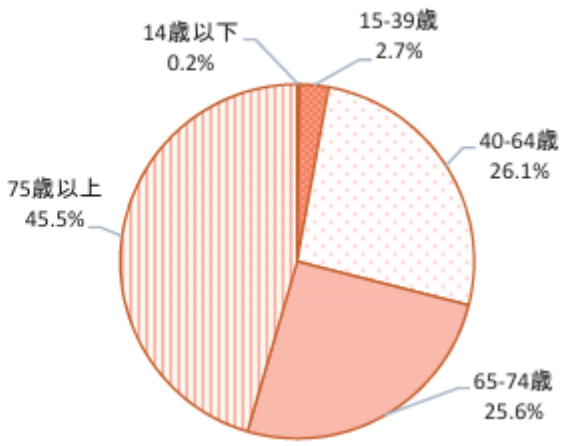


岐阜県　性別・年代別の罹患割合

男性

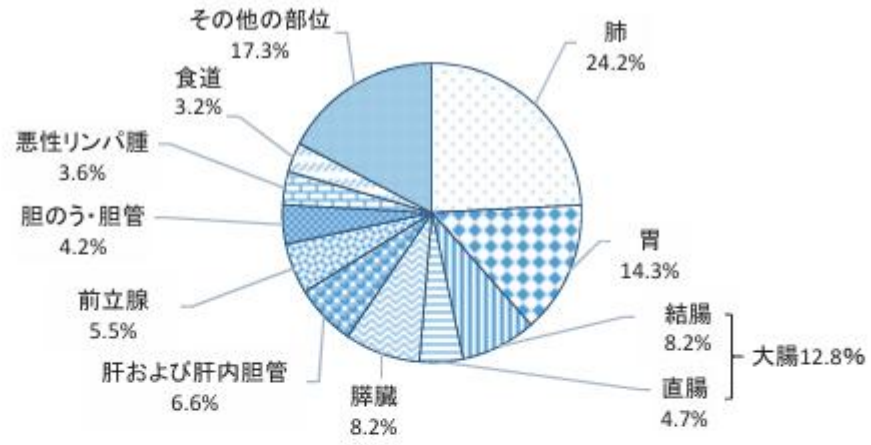


女性

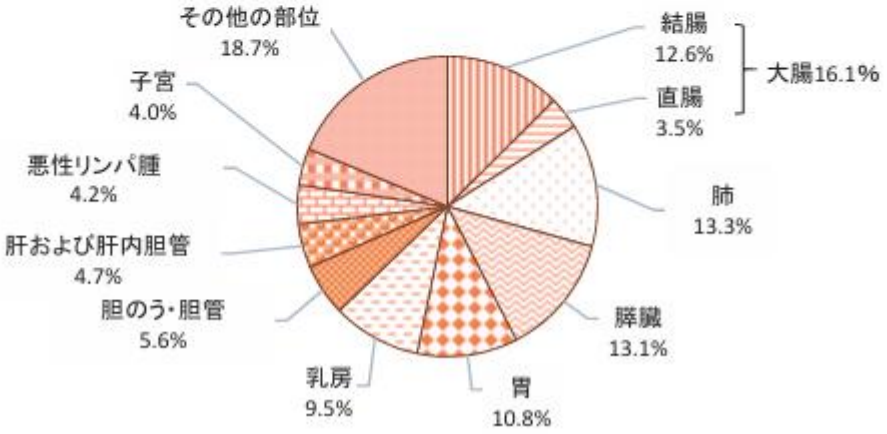


岐阜県　性別の死亡割合

男性

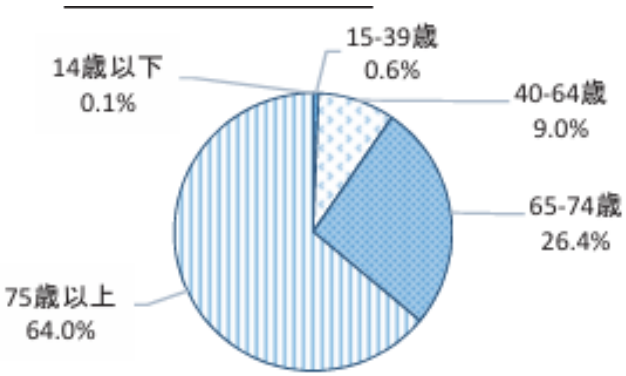


女性

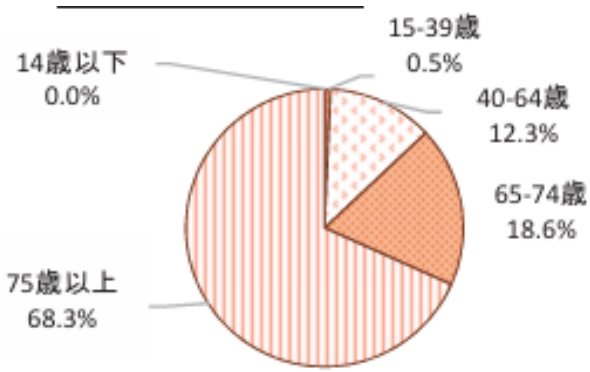


岐阜県　性別・年代別の死亡割合

男性



女性



出典：岐阜県のがん登録 2020 年次集計結果

→「岐阜県のがん登録－2020 年次集計結果－」（岐阜県）（外部サイト）
→「令和 5(2023)年人口動態統計月報年計(概数)の概況」(厚生労働省)　（外部サイト）
→ぎふがんねっと『岐阜県がんの現状』（外部サイト）
→国立がん研究センター「がん情報サービス」（外部サイト）